

山陽新幹線における今後の設備検測について

～2027年以降を目途にドクターイエローによる検測を終了します～

山陽新幹線では開業以来、電気設備および軌道設備の定期的な検測は「新幹線電気軌道総合試験車」（通称「ドクターイエロー」）を使用して実施してきましたが、同車両の老朽化に伴い、2027年以降を目途に「ドクターイエロー」による検測を終了する予定です。

以後の設備検測については、JR東海が保有する営業用車両に搭載された検測機器により検測を行う方向で検討中です。

2027年以降の新たな検測体制の詳細や、弊社の保有する「ドクターイエロー」T5編成の具体的な検測終了時期等については、内容が固まり次第、改めてお知らせいたします。

【新幹線電気軌道総合試験車（ドクターイエロー）T5編成の概要】

ドクターイエロー（T5編成）は2005年に製造され、JR東海が保有するT4編成と交互に約10日に一度の頻度で東海道・山陽新幹線の電気及び軌道設備の検測を行っています。



今回ご案内の取り組みは、SDGsの17のゴールのうち、特に8番、9番、11番に貢献するものと考えています。